

SNSを学習活動で使った際の困り感



田 佳

学園祭の連絡にednity使えるんじゃないかとか思ってしまった

♥いいね! 4

綾...さんと、山口...さんと、遠藤...さんと、他1人がいいね!と言っています



山口... 2014年06月26日

ソレワタシモオモッタヨw
ホカニモオモッタヒトイルトオモウヨwww

♥いいね! 0



下... 2014年06月26日

ソレナ(ア...)アダシモノウオモタヨ<<<<

♥いいね! 1



コメントする...



新・美

(つcc)ウオオオオオオオオオwwwwww

1、実名投稿であっても、学習課題から逸れていくいわゆる「荒れ」が起こること

2、一部のSNS慣れしている生徒はどんどん「書き込み」をするが、他の生徒は傍観者となりがちなこと

これらの問題は、学習活動を根本から成り立たなくするために、**致命的**

- ① **学習課題解決が不十分になる**
- ② **自由闊達な議論が抑制される**
- ③ **学習不参加者が増大する**

解決は必須だが、
教員からの「まじめにやりましょう」といった**注意や叱責**は、生徒が「**無難な回答**」をする結果を招き、**投稿の量も質も下がる**ことが予見された

研究仮説

仮説 1, 生徒たちにSNSは私的な交流の場ではなく、
「公的な場」だという意識を持たせることで、学習課題から逸れていく「荒れ」がなくなる

→SNSは、学習課題を投稿する場

仮説 2, SNSの投稿から他の生徒の「よいところ」や「自分にはない知見や観点」を根拠を示しつつ引用させることで、

- ① SNSは他者の意見を受容する場という認識と安心感を生み出し、投稿しやすくなる
- ② 自分が「良い」と思う理由や、その知見や観点は自分にあるのかどうかを自己省察させて、多様な意見を吟味し、自己のものの見方や感じ方、考え方を広げる機会であることが体験的に理解されて、反射的な短文投稿や、吟味無しの続けざまの投稿が抑制される

研究の方法

- 1、教員からの課題について「自分の分析と意見のみ」を ednity に投稿することを複数回続ける
- 2、他の生徒の「よいところ」や「自分にはない知見や観点」を引用し、根拠を示しつつ投稿することを複数回続ける

「自分の分析と意見のみ」をednityに投稿

中 美

課題は、動画を参考にして、「ごんぎつね」が物語童話で、「おひたのぼろし」が小説童話であることを、考え、論証することである。

「ごんぎつね」は、ぎつねのごんから見た世界や、行為、考えたこと、感じたこと、兵十から見た世界や、行為、考えたこと、感じたことがそれぞれ一方的な視線で語られている。動画で紹介されている「ごんのことはごんしかわからない」とか、「兵十のことは兵十しかわからない」という言葉がそれを表現している。「物語童話の登場人物は、ある一つの視点だけ一つの世界の中で行動することになります。」ということである。そのため、2人の気持ちが交わることはなく、兵十がごんを撃ち殺して、取り返しがつかなくなった状態で、初めて通じ合う。

一方で、坪内逍遙がnovelを訳した言葉といわれている小説には、新奇のものという意味があるらしい。なぜ新奇かという点、「おひたのぼろし」では、おひたが気の良いおにであることを語り手に語らせている部分があるからである。おひたの心情を丁寧に描写しているけれども、女の子とおひたの心が通じ合う場面は最後までない。おひたの気持ちは、女の子の気持ちに一切通じていない。動画で紹介されている「おひたはおひたのせかいがある」「少女には少女の世界がある」という言葉のとおり、おひたと少女の間にはなく、それぞれを取り巻く世界に溝があるので、決してこの二人が交わることがない世界を描いている。

以上のことから、2作とも悲しい結末だが、物語童話では、最後には心が通じ合うという人々が期待する結末が、あらかじめ計算したうえで、用意されているので読み終わった後、悲しいけれどもあまり胸はざわつかない。「ごんぎつね」の最後のシーンである『「ごん、おまいだったのか。いつもくりをくれたのは」ごんは、ぐったりと目をつぶったままうなずきました』という場面である。悲しいが少し救われた気持ちになることができる。

しかし、小説童話では、おひたのぼろし」の最後の場面で、女の子が食べ物を届けてくれた”神様”が変化した豆をまきながら「さっきのこはぎと神様ごわ。そうよかみさまよ」とかながえました。」と書いてあるように、気の良いおひたの気持ちが最後まで女の子に通じないことにより、ざわついた気持ちが余韻として残る。

そこが、物語童話との違いだと思う。

光 も

課題は、動画の説明を参考にして「ごんぎつね」は「物語童話」、「おひたのぼろし」は「小説童話」といえるのは何故か、本文を読み、自分で考え、論証する。ということだ。

まず、ごんぎつね。(物語童話)

物語童話は登場人物は、彼のわかることしかわからない、作品内の語り手は、語り手のとらえた世界しか語れない。それらのみでできているのだ。と動画内で示されている。

ごんは、ひょうじゅうに悪いことをした、と思っておひたに栗や松茸を送っていた。しかし、そんなことは全く知らないひょうじゅうは、いつものように栗を届けにきたぎつねのごんを、また盗みにきたと勘違いをして、銃で撃ち殺してしまう。この事件は、まさに、登場人物同士の食い違いから起こったことである。ごんはごん、ひょうじゅうはひょうじゅう、という個人のわかることしかわからず、勝手な行動をし、失敗。そして、語り手は、その話を二人の知らない第三者という視点から見て話している。

この三人のそれぞれの視点から見た話のみをつなげて書かれた童話だということがわかる。

よってこの話は、物語童話である。

次に、おひたのぼろし。(小説童話)

小説童話は、登場人物同士の間には、わかりあえない溝、壁がある。小説の外側の世界…登場人物の知らない世界や、語り手がとらえられない世界をもっているのだ。と動画内で示されている。

おひたは、私達が普段想像するようなこわいおにではなく、とても優しいおにだった。ある時、少女と少女の母が住む家へこっそりしのびこみ、様子をうかがっていたおひたは、どうやら母が病気で少女が困っていることに気がつく。そしておひたは、ご飯を届けてあげた。そこで、話をしているうちにおひたの話しになる。しかし、おひたの正体がおにだということを知らない少女はおひたについて失礼な話をする。おひたは次第に嫌になるが真実を話す訳にもいれない。

このように、お互いに真実を知らない二人はまさに、登場人物同士の間にある分かりあえない溝、壁であると言えるだろう。また、おひたや少女の心情は直接的にこわかれておらず、語り手にもとらえられないのだということがわかる。

このように、少しずつ曖昧にしていることから、登場人物や語り手にそれぞれの知らない世界が存在し、広がっているということがわかる。

よって、この話は小説童話である。

「よいところ」や「自分にはない知見や観点」を引用し、根拠を示しつつ投稿



藤真

さんの「エミさんは、容姿あるいは内面において普通の人とは違ったところがあるのではないかと推測した。そして、その部分をコンプレックスに人目を気にして生きていたのではないかと考えた。そのため、いじめだったり自分を隠すストレスだったりするものがのしかかった結果病院生活をしているのではないかと推測した。」という意見が自分には全く思いつけなかったし、エミさんが病院生活をしている理由まで書いてあってすごいと思いました。



小一

さんの「エミさんの病気が稀なもので在ると考える同化するように生きていたのではないか。」という意見は病気と生まれ変わりたいという気持ちがしっかりつながっていていいと思いました。

成果 1



松 郁

さんの班について
競争した方がやる気がでけるといのは個人差があると思う

♥いいね! 0

2014年02月28日

最初のいいね!をしよう



本 菜 2014年02月28日

私の意見では、
競争をした方が、自分が今学力においてどれくらいの位置か把握できると思う。
把握できれば、もっと上を目指そうとやる気が出ると思った。
学力において個人差はその個人の能力なので仕方ないのでは…

♥いいね! 0



中 友 2014年02月28日

順位をしれるのもいいがその中で下位の人にはやる気を出せないと思う

♥いいね! 0



田 郎 2014年02月28日

確かに学力には個人差があり、それが個々の能力の強さだと思うので、人間のプライドとかを利用したいのものだと思う。

♥いいね! 0



本 菜 2014年02月28日

私が疑問に思っているのは、順位を知らないからといって、学力が上がるのかということです。
まだそこを詳しく述べられないので、考え直して見ます。

♥いいね! 0



コメントする...

「荒れ」が
生じなくなった

成果 2



評

くんのこの記事は、教育委員会目線で、成果を挙げた学校に対して利益誘導をし、応援金を出すというものだ。

内田さんの否定している『利益誘導』をまさに実行しようとしている。(学校側に教育委員会が利益誘導しようとしている。)

もし、利益誘導をするということであれば(生徒目線) ↓
応援金の使い道は校長先生が決めるとある。教育に活かしてくれるような先生もいるだろうが、学校に必要なことに使う人もいるかもしれない。校長だけでなく、先生が決めるのかなら良いだろう。しかし、どう使われるかは分からない。だから、教育委員会側で教材を買うなどして、対策をして欲しい。
また、教える側と教えられる側に温度差ができ、溝ができる。そこも上手くできればこの利益誘導は良いだろうが、、



この内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています

授業中に自発的な発言をほとんどしない生徒の意見をリアルタイムで生徒全員が知れるようになった

2014.2.7 中学2年生80名の回答(複数回答)

評価悪い

1 入力のに時間に差がある(入力に時間がかかる)	7
2 みんなの投稿に追いつけない	3
3 意見を全部見るのがたいへん	3
4 無言の活動が奇妙	2
5 文字だけでは表現が難しい	1
6 感情が伝わらない	1
7 表示数が少ない	1

生徒の意見

- ednityで自分の意見を述べると、言葉で言うよりもよく考えてまとめる事が出来て、自分の考えている事をそのまま述べられるところが良い。
- まず一つ目に全員の意見が分かり、それだけでなく、簡単に見ることが出来るのがいい。自分の意見をしっかり述べられるからいい。今後も使いたい。
- 全員が、どんな意見を出しているのかがしれてよかったです。これによって、自分の考えを変えることによって、意見の質が上がるからです。
- 手を挙げて口答で言うとなると、結果的に同じ人の意見ばかり聞くことになってしまうけれども、ednityだと、いつも発表したりしない人の意見も聞けるうえ、自分のペースで他の人の意見が見れるのでいいと思いました。
でも、パソコンやiPadの画面越しの会話よりも、人が声を出した方が、はやいし、すぐにわからない部分の質問もできるうえ、感情も伝わりやすいので、そこはednityに賛成できない。
また、個人的な意見ですが、静かすぎるのは授業らしくないと思ったし、変に緊張してしまった。

1	全員の意見を読める、共有できる	46
2	普段発表しない、できない人でも気軽に発表できる	18
3	くり返し読むことが出来る	17
4	他の人の意見をすぐに見られる	15
5	自分の意見と比較しやすい	15
6	他の人の意見を読み、自分の意見を向上できる	11
7	いつもは発言しない人の意見が読める	7
8	口頭よりも考えをまとめやすい	5
9	学校外からも投稿できる	5
10	他の人の意見を参照して課題に取り組める	4
11	紙で配る時間が不要	3
12	紙に書くよりも楽しい	2
13	他の人の投稿にコメントできる	2
14	長い意見をよく考えて発表できる	2
15	すぐに提出できる	1
16	全員に発言権がある	1

成果と課題

問題点の解決もできたし、投稿の量と質も落ちること
はなかったなので、有効な方法である。

しかし当初から実証研究を計画した訳ではなかったの
で、以下の点が確かめられなかった。

- ①生徒間の意見交流を、年間の学習指導計画の関係で
2回程度しかできず、問題解決の継続性について確か
められなかった。
- ②意見交流において教員がどんな役割を果たすとより活
発な意見交流がなされるのか確かめられなかった。